



創り出した新たな伝統

学校自慢
vol.13
けやき台中学校

- 1 生徒会の13人。「色々な企画をして全校生徒が思いっきり楽しめるように」いつもそれを大切に考えてきた
- 2~3 文化の部は3年生のみ体育館、1・2年生はリモートで観覧した。各クラスで制作したモザイクアートも圧巻!
- 4 選手宣誓! 雲一つない青空のもと、5団(赤・青・黄・紫・緑)に分かれて力を出し切った体育の部
- 5~9 体育の部のオープニングを飾ったのは、5つの応援団がそれぞれ他の団にエールを送る「エール交換」!

けやき台中学校では特別な行事などを除き、服装などが自由です。指定のかばんや靴もありませぬ。「何かを制限するのではなく、その行動がふさわしいかどうか」と、その場合に合わせて自分で考え、行動するということをとても大事にしています。これがけやき台中学校の校風で、一番の自慢です!

また5月の生徒総会では、より過ごしやすい学校となるよう「けや中5か条」を制定・発表しました。

「けや中5か条」

- ① 気持ちの良い挨拶をしよう
- ② 丁寧な言葉を使おう
- ③ 身近な人への「ありがとう」
- ④ 身だしなみを整えよう
- ⑤ 話をしっかりと聞こう

「あたり前にできることを増やそう」5か条を決めるときに大切にしたいです。月に1回実施する「生徒集会」で呼びかけたり、あいさつ運動を実施するなど取り組みを続けています。

ひとつになれた「けや中祭」

9月に予定していた体育大会は緊急事態宣言で2度延期に。「全校生徒で思い出をつくりたい」誰もがこの想いを持っていました。先生たちがたくさん話し合い、私たちも何が出来るかみんなで一生懸命考えました。そして、宣言が明けた10月末、文化祭と体育大会を連日同時に行う「けや中祭」を実施できました。

これはけやき台中学校35年間の歴史の中で初めての取り組み。体育の部では、大きな声は出せなくても自分の団だけでなく他の団も応援する姿があったり、文化の部では合唱コンクールに代わり「モザイクアート」を各クラスでつくりあげたりと、制限のある中でも、けや中らしく楽しむことができました。コロナ禍でも希望を持って前を向き、全校生徒みんながひとつになれた「けや中祭」。「できない」ではなく「できる」ように工夫することの大切さを学べたかけがえのない時間でもありました。

＜ エステイジーズ S D G s ＞



未来へSDGsの種をまこう!
「こんなところにSDGs」

■ SDGsって何?

最近、「SDGs」という言葉をよく見聞きしませんか?



SDGsとは2015年に国連サミットで採択された「持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals)」で、2030年までに達成すべき17の世界共通の目標が設定されています。



この目標は全ての人にあり、誰でも取り組むことができます!

これもSDGs!
▶ 見ていないテレビを消す
▶ シャワーを出しっぱなしにしない

■ 三田のまちとSDGs

市では、SDGsと目標年次がほぼ同じ「第5次総合計画(目標年次:2031年度)」を策定中です。総合計画によるまちづくりの中で、SDGsの達成をめざしていきます。2月号から三田での取り組みを紹介します! 問い合わせ=政策課(559-5038 FAX 563-1366)

＜ 防災・防犯・交通安全 ＞



1.17の記憶「阪神・淡路大震災から27年を迎えて」

平成7年1月17日5時46分、震度7の揺れが兵庫県南部地方を襲いました。あれから27年を迎えますが、震災を経験した人は年々減少しています。「震災の経験や教訓」を次代に受け継いでいくことが課題です。地震などの自然災害は誰も予想できません。もし避難が必要となった場合、自宅近くの避難所はどこか知っていますか? 「ハザードマップさんだ」などで確認してください。また、避難する際の持ち出し袋や備蓄品の用意、家族や知人との連絡方法を確認しておくなど、普段から準備をすることが大切です。それぞれが「今できること」を行い、いざという時に備えましょう。

■ 防災マメ知識! 「地震の揺れがおさまっても」

慌てず、家族の安全確認や周囲の安全を確認して、以下の4つに気を付けましょう。



問い合わせ=危機管理課(559-5057 FAX 559-1254)

＜ 共生 ＞



手話にチャレンジ!
「お正月」の手話を学ぼう

今月は「お正月」の手話です。手話は聞こえない人・聞こえにくい人とコミュニケーションを図るための第一歩。皆さんも一緒にやってみましょう!

問い合わせ=障害福祉課(559-5075 FAX 562-1294)

動画を見てやってみよう▶



成人式の手話も動画で紹介しています!



おみくじ



お正月



初詣



＜ 消防・救急・救命 ＞



冬に起こりやすい事故に気をつけよう!

■ 脱衣場でのストーブの利用に注意!

寒い冬は身体にも負担がかかります。なかでもお風呂前の脱衣時は体温が大きく下がるため、脱衣場をストーブなどで暖かくするなど工夫をしましょう。しかし、脱衣場でストーブを使用する場合は、衣類などがストーブにかかって火災に繋がる恐れがあります。うっかり事故を防止するためにスイッチは確実に切り、コンセントも抜くクセをつけましょう。



問い合わせ=消防本部予防課(564-7308 FAX 563-1230)

■ お餅の「喉詰り」に注意!

お正月を迎え、お餅を食べる機会が増えます。子どもや高齢者の人などは飲み込んだり噛む力が弱いので、喉に詰まってしまう事故が毎年発生しています。小さく刻むなど、安全に食べられるよう工夫をしてください。

問い合わせ=消防本部救急課(564-7305 FAX 563-1230)

もし詰まったらどう対応?動画をチェック!▶

